

人権だより No.313 (2024.5)

さいきんおも 最近思うこと

きょうとう みずたに いちろう
教頭 水谷 一郎

わたし まいにち いぬさんぼ た みち ある やす
私は、毎日、犬の散歩で田んぼのあぜ道を歩いています。休みの日には、夫婦で散歩に出かけますが、自然と稲(お米)の生長が目に入ってきます。近所の田んぼは、ようやく水を張りはじめたところ。これから本格的に田植えが始まります。

しゃしん さくねん がつころ いね すこ み はじ
写真は昨年の7月頃のもので、稲は少しずつ実をつけ始めていますが、まだまだまっすぐ上に向かって伸びており生長の途中です。あぜ道を歩きながらよく思い出す言葉があります。思い出しては、人間こうありがたいものだな、と妻につぶやきながら犬と歩きます。

「実るほど頭(こうべ)を垂れる稲穂かな」

みな き ことば がくもん
皆さんも聞いたことがあるかもしれません。この言葉は「学問とく ふか ひと たにん たい けんきよ いみ ことば
や徳が深まった人ほど、かえって他人に対して謙虚になる」という意味の言葉です。稲が若いうちは空に向かってまっすぐに伸びますが、やがて実を付ける稲穂に生長します。そして稲穂の中のお米が実ってくると、その重みで頭が垂れ下がってきます。そのことから、立派に成長した人間ほど頭の低い謙虚な姿勢であるという事を意味するようです。ここまでになるのに、強い風や大雨に打たれたり、寒い日や暑い日乗り越えたり、多くの試練を経験します。そういった苦しみを乗り越えることで、立派な稲穂に生長し豊かな実を付け、頭が垂れてきます。人間も同じです。多くの経験を積み立派な人格を形成した人は、偉くなればなるほど、頭の低い謙虚な姿勢になっていきます。

けんきよ ひと いちばん とくちょう ひと たい やさ あいて たちば かんが あいて しんじょう
謙虚な人の一番の特徴は人に対して優しいことです。相手の立場で考えたり、相手の心情へんか きづ しや ひろ も しゅうかん きづか
変化に気付くように視野を広く持つたりする習慣がついており、さりげない気遣いをする事ができます。また、他者の多様な考えを受け入れ、そこから学んでいくという姿勢を常に忘れません。そのため、傲慢になったりひけらかしたりするようなことをしません。

にんげん ものごと せいこう な えら
人間というのは、物事がうまくいったり、成功したり、慣れたりしてくると、どうしても、偉そうになったり、傲慢になったり、横着になったりすることが多く、謙虚に頭を下げることなど忘れてしまい



ます。感謝の心や思いやりの心もなくしてしまいます。そんなふうに謙虚さをなくしてしまうと、知らず知らずのうちに他人の心を傷つけたり、いやな思いをさせたりしてしまうものです。

皆さんも、いつも感謝の気持ちや人を思いやる気持ちを忘れず、他人の考えを受け入れることができるようになってもらいたいと思います。何か事がうまくいっても、自分一人の力で成功したなどと、思い上がったり、うぬぼれたり、傲慢になったりすることなく、この稲穂のように、常に謙虚で頭の低い人間であってほしいと思います。皆さんが周りの人から信頼され、社会に貢献できる人間になることを祈っています。



【人権委員の声】

私はこの稲穂のように立派に成長して感謝や思いやりを忘れず、周りの人に対して優しくしようと思えました。自分にとって苦しいことが続くことは立派な人になるための成長の過程だと思うことができてよかったです。(2年生 人権委員)

私は「実ほど頭を垂れる稲穂かな」という言葉を初めて聞きましたが、この文章を読んで共感できる部分がたくさんありました。必ず人に対しての感謝の気持ちを忘れないように心に余裕がある人になりたいと思いました。これからの人生の中でたくさんの困難に出会うと思いますが、周りの人と協力しながらみんなから信頼されるような人になれるよう、他人の気持ちを考えながら行動していきたいと思います。(3年生 人権委員)

オリンピックなどの世界大会でよい成績を収めた選手はその後のインタビューで必ず家族や指導者に対して感謝の気持ちを一番に述べています。技術力だけでなく、感謝の気持ちを忘れずに競技と向き合ったからこそ本番でベストをつくすことができたのだと思いました。何かに挑戦したとき、どんな結果になっても支えてくれた周りの人たちに感謝し、次のステップに行くことができる人間になりたいと思います。(6年生 人権委員)

文章中の「実ほど頭を垂れる稲穂かな」や「能ある鷹は爪を隠す」というように、本当に実力のある人ほどやたらにそれを現わさないことから、謙虚であり、周りの人や物事をよく見ている人なんだなと思いました。1学期が始まってもう1か月たちましたが、始業式に立てた今年度の目標を破りがちになっているので、初心を忘れずに他者と協力しながら過ごしたいと思います。(6年生 人権委員)

人権教育相談課より

職員室の入口にある掲示板に「人権教育課コーナー」があります。職員室を訪ねてきた皆さんが、先生を待ったりするちょっとした時間に読んでもらいたいなという思いから、主に新聞記事を掲示しています。いろいろな記事を読んで、いろいろな人の考えに触れることで、自分の考え方や価値観を見直し、人権感覚を磨くきっかけにしていきたいと思います。新聞記事の他にも、人権委員会の活動報告もしています。先日行った活動として、中庭の花壇にヒマワリの種をまいた様子などを掲示しています。ぜひご覧ください。